

# 庁舎等の在り方を考える④



## 庁舎等整備検討委員会 第5回、第6回会議報告

お問い合わせ 政策推進部 政策推進課 (米原庁舎)  
☎52-6626 ☎52-5195

### ▼第5回検討委員会の内容 (7月28日)

第4回検討委員会のワークシヨップで検討した「新庁舎の基本理念」について、2つのグループの意見を集約し、基本理念のまとめや庁舎に求められる基本的な機能について検討を行いました。

#### 【新庁舎の基本理念】

2つのグループの意見から基本理念にふさわしいキャッチフレーズを選定し、未来につなげる新たな米原市の拠点の実現に向けて、5つの整備理念を定めることを確認しました。

#### 【新庁舎の基本機能】

他市の新庁舎整備事例や機能イメージを事務局から説明した後、基本理念(5つの整備理念)を具現化する機能について検討を行いました。委員のみなさんからは、次のような意見が交わされ、新庁舎の基本的な機能の方向性を確認しました。

#### 【主な意見】

- ・人口規模に見合った庁舎で市民が来やすく、経済性や使い勝手が良く、職員が働きやすいなどの視点が必要。
- ・情報発信、提供だけでなく、情報が集まる仕掛け、機能が必要。



### ▼第6回検討委員会の内容 (9月26日)

第5回検討委員会に引き続き、新庁舎の基本理念と基本機能についてまとめを行いました。

また、基本機能を踏まえ庁舎に必要な面積(延床面積)や駐車場の台数などの検討を行い、新庁舎に必要な規模について確認しました。

#### 【新庁舎の規模】

庁舎に必要な議会議機能、行政機能のほかに市民協働機能や災害対策機能などを備えるために必要な庁舎の面積(延床面積)を、平成22年総務省「地方債同意等基準」(以下「総務省基準」という。)および人口規模の近い自治体における庁舎整備の先行事例(以下「先行事例」という。)を基に検討しました。

また、併せて来庁者および公用車の駐車台数について検討しました。新庁舎の規模としては、庁舎の面積10000㎡程度、駐車台数を158台程度とすることで方向性を確認しました。

### ▼総務省基準と先行事例から算出される庁舎の面積

総務省基準に基づく規模	内訳	議会機能	700㎡	想定職員数を400人とし総務省基準に基づいて算出。  ※付加機能は総務省基準にないため、検討委員会において必要面積を算出。 参考：職員当たり延床面積 25.2㎡/人
		行政機能	7597㎡	
		付加機能 (市民協働、災害対策機能など)	1800㎡	
	庁舎の面積(合計)		10097㎡	
先行事例に基づく規模	庁舎の面積		10920㎡	【職員当たり延床面積 27.3㎡/人】 ×想定職員数400人 参考：職員当たり延床面積(27.3㎡/人)は、先行事例の平均値

**基本理念 「水源の里」としての個性と魅力を受け継ぎ、未来へつなげる新たな拠点**

人々の命を守る「水源の里」として生まれ、歴史や文化を紡いできた地域の個性と魅力を受け継ぎ、未来へつなげる新たな発展に向けた米原市の拠点として、人や物、情報が行き交う結節点としての地の利を活かし、人々を思いやりでもてなす新庁舎の実現に向けて5つの整備理念を定めます。

整備理念		基本機能
1	未来につながる、豊かな市民力を活かす開かれた庁舎	① 市民協働機能 ② 市民交流、賑わいの生まれる場の提供 ③ 市民に開かれた議会の実現 ④ 情報の集積、適切な発信のための環境整備  ▲市民交流スペースイメージ
2	市民の安全、安心な暮らしを支える庁舎	① 災害時の危機管理機能の維持、市民への情報発信機能の強化 ② 安全性を確保し、災害に強い庁舎の実現 ③ 市民の財産を守る、強化された防犯対策  ▲防災拠点イメージ
3	誰もが使いやすく、人にやさしい快適な庁舎	① 子どもから高齢者まで、あらゆる人に配慮したデザイン ② 窓口機能の向上、相談窓口機能の充実 ③ 快適で効率的な執務環境の実現  ▲キッズスペースイメージ
4	未来にわたり親しまれ、効率的で人や社会と共に成長する庁舎	① 将来の変化に柔軟に対応できる、高いフレキシビリティ <sup>※1</sup> の確保 ② 維持管理のしやすさなど、ライフサイクルコスト <sup>※2</sup> への配慮 ③ 市民に親しまれるデザイン、材料の選定
5	まいばらの自然環境の創造、保全を推進する庁舎	① 自然エネルギーの有効活用 ② 省エネルギー技術の採用、環境負荷の低減 ③ 豊かな森林資源の保全と地産地消

※1フレキシビリティ…変化に対する柔軟性を意味し、用途や機能の変化、増築や改修、間取りの変化などに対応可能な建物の性質。  
 ※2ライフサイクルコスト…建物が計画、建設、運用され、修繕や改修などが行われながら維持され、最終的に解体されるまでにかかる費用。

今後のスケジュール

次回、10月29日開催の第7回検討委員会では、市の新たな拠点の実現に向けた庁舎建設候補地について検討を行います。

▼10月29日

第7回検討委員会

…庁舎建設候補地の検討

▼11月中旬予定

第8回検討委員会

…庁舎建設候補地の検討

▼12月上旬予定

第9回検討委員会

…建設手法、財源等の検討

▼12月中旬予定

市長へ答申

▼平成27年1月予定

庁舎等整備基本構想(案)の

パブリックコメント募集

▼平成27年2月予定

庁舎等整備基本構想の策定